

令和7年度10月号 [10月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校

川口市東本郷2-20-47番地

TEL 048-281-4065

特別支援学級 285-2423

さわやか相談室 281-4627

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

衣装

校長 柳田 勇

ようやく秋の訪れを感じる季節となりました。夏の猛暑により、身体にも疲労が蓄積していると思います。引き続き、体調管理にはお気をつけいただきたいと存じます。

2学期に入り、市民体育祭（新人戦）、第79回体育祭などの行事等がありましたが、無事に終了することができました。自分が得た結果について、人それぞれ感じ方に違いがあると思います。自分自身がどのような準備や努力で臨んだかによるからです。しかし、大切なことは、その結果をこの後の生活にどのように活かしていくかということです。人は同じことを繰り返すものです。その時感じた、悔しさや後悔は、時間とともに忘れてしまうものです。また反対に、うれしかったことや充実感、忘れることなく記憶に残るものです。保護者の皆様には、お子様と自分がどのように感じたかを話す機会を作っていたいただければと思います。人は言葉にすることで、改めて自分の感情を実感できると思うからです。

私は部活動の大会では、観客席から応援させていただいております。大会は、部活動で練習してきた成果の場ですから、遠くから見守らせていただくことが一番だと考えております。そのような中、いつも思うことがあります。それは、「うちの学校にあのような生徒がいたかなあ」ということです。これは決して生徒を覚えていないというわけではなく、観客席から見る選手の姿が、いつも以上に立派で頼もしく見えるからです。その生徒が誰かわかると、「〇〇さんかあ」と感心してしまいます。ユニフォームという衣装を着ると、生徒自身の気持ちも変わり、自分自身の立ち振る舞いも気が付かないうちに変化しているのだと思います。

日常生活において、私たちは様々な衣装を着ます。どのような状況・場面かを判断し、どの衣装を着るか決めていきます。いわゆる“その場にふさわしい服装”ですが、衣装を着ることで心持ちも一緒に切り替えることができているのだと思います。そして、その後の立ち振る舞いも、その場にふさわしい行動をとることが大人なのだと思います。

学校は、今後も進路決定や学校行事など、多くの人と出会う機会があります。特に初めて会う方々は、本人よりも『東中学校の生徒』という印象をもつことが多いと思います。自分の行動が、『東中学校』という学校全体のイメージとなってしまうわけです。学校の伝統というのは、このように決まっていくのかもしれませんが、今の東中学校も、先輩方・生徒により作られています。体育祭の選手宣誓にもありましたが、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」日頃から行動していくことが求められているのです。学校行事や大会は、日頃とは違う環境だからこそ、いつもとは違う経験ができ、学ぶことも多くあるのです。制服登校に戻った今、改めて中学校生活を充実させたいと思うばかりです。